

広瀬団地再生ビジョンワークショップ かわら版

第1回 「広瀬団地を知り、気づきをマッピングする」

広瀬団地再生ビジョン策定に向けたワークショップの第1回が6月30日(日)に開催されました。このワークショップでは、団地再生において実現したいことや、実現に向けたアクションを参加者それぞれの視点から「自分事」として検討していきます。

第1回ではまちあるきを行い、良い点も課題点も洗い出す現状把握を行いました。一般的な事柄ではなく、広瀬団地としての現状を多角的な視点で見ることが出来ました。

～当日の様子～

- 1 まちあるきに出かける
- 2 気づきをメモする
- 3 メモを地図にマッピング
- 4 グループで気づきや想いの共有

参加者数：30名



●まちあるきで出た意見

■：まちの良い点

■：まちの課題点

建物や緑地など、それぞれの管理においてルールや基準があいまいで、団地をキレイに保つことができていなくてもったいない

まちの雰囲気をつくる
特徴的なモノ・コトがある

物理的な制約もあり、使い勝手もあまり良くないため、団地内の資産・資源を生かしきれていない

きちんと整備・管理された地域資源の数々

歩行者・自転車の安全の問題がある一方で、車中心の社会であり、外から団地に来る人への対応策(バスや駐車場)も少ない

豊かな自然・歴史を有する地域の拠り所、鎮守の杜・飯玉神社

特徴的なモノや見た目・景観として面白さ・楽しさが少ない

まちを使い倒す活動の様子や場のポテンシャルがある

歩くと想定されているところは歩きやすい

人が集まって暮らす団地だが、物理的・心理的な境界を感じ、交流も少なく人気も少ない

住民のコミュニケーションもあり、様々な人が活動できる拠点がある

徒歩圏内に生活利便施設も、生活を楽しむお店も少ない

使いやすさやキレイさによる空き部屋の少なさ

団地・戸建てともに古い建物では空きが目立つ